

あいち農山漁村 女性の活躍促進大会

愛知県立農業大学校

愛知県農業水産局農政部農業経営課

あいち農山漁村女性の活躍促進大会

1 日時

2021年6月15日（火） 13:00～16:00

2 場所

愛知県立農業大学校 中央教育棟 3階 大講義室

3 内容

13:00～13:15 開会

主催者挨拶及び男女共同参画プランの説明

説明者 愛知県副知事 青山 桂子

13:15～14:00 基調講演 ★リモート

「農山漁村の女性が活躍するために一見つけて位置付けてつなぐー」

講師 日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科

教授 川手 督也 氏

14:00～14:15 休憩

14:15～15:55 優良事例発表 ★会場

農業 山内 祐子氏（田原市）

農業 太田 良子氏（安城市）

農業 中村 美恵氏（豊橋市）

水産業 牧内美奈子氏（豊橋市）

林業 前田 臣代氏（丹羽郡大口町）

林業 土谷由希子氏（丹羽郡大口町）

15:55 閉会

4 注意事項

新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、大会開催中はマスクの着用や手指消毒の徹底など感染防止対策の実施にご協力ください。

基調講演

**農山漁村の女性が活躍
するために**

—見つけて位置付けてつなぐ—

日本大学生物資源科学部

食品ビジネス学科

教授 川手 督也 氏

農山漁村の女性が活躍するために - 見つけて・位置付けて・つなぐ -

2021年度あいち農山漁村女性の活躍促進大会講演用資料



日本大学生物資源科学部
川手 督也



報告の構成

はじめに

1. 華やかでやりがいと誇りに満ちた女性の姿と農林漁業・農山漁村の可能性
2. 女性活躍の意義
3. 女性の農林漁業・農山漁村離れ
4. 農業委員会や農協などの公共性と女性の参画
5. 女性を担い手として位置付ける家族経営協定
6. 女性ももって活躍するための対応策：あいち農山漁村男女共同参画プランの実現のために
7. むすびにかえて

はじめに - 自己紹介 -

○大学を卒業して農林水産省に入省、20年間勤務

- * 主として農業試験場で農業・農村の活性化に関する研究に従事
- * 2年間行政にて農山漁村女性・高齢者対策に従事

○2005年より日本大学生物資源科学部（いわゆる農学部）で教育・研究に従事

○約30年前の「**農山漁村の女性に関する中長期ビジョン**」と昨年12月末に公表された「**女性の農業における活躍推進に向けた検討会**」報告書の策定に関与



1. 華やかでやりがいと誇りに満ちた女性の姿と農林漁業・農山漁村の可能性

○農林漁業や農山漁村の担い手として女性が重要なことは以前から言われてきたが、近年、経営参画や役割分担の明確化が進み、経営や地域活性化への貢献が顕在化

○リーダー層で、「**華やかで農業へのやりがいと誇りに満ちた農山漁村の女性**」が多数現れる

※かつての農山漁村の女性：「**乳役兼用無角牛**」= 後進性のシンボル



○**農林漁業・農山漁村の可能性を端的に示している**



○リーダー層においては、自分の経営から、地域社会、さらには都市での活動にまで拡大

○取組の内容は、経営のみならず、産直、直売、6次産業化、伝統文化の継承や新しい生活スタイルの創造、地域づくり、地域資源管理、環境問題への対応、高齢者福祉、都市住民や消費者との交流など、生活者の視点を生かした多様で幅の広いものに

※ **中長期ビジョンの「めざそうとする女性の姿**：自分の生き方を自由に選択し、自分の人生を自身で設計し、その結果、自信と充実感を持って暮らしている女性



方針決定の場への参画の動向と課題

○農業委員に占める女性の割合10%を超える（愛知県16.9%（2020））

○農協の役員への登用も10%に近づく（愛知県15.2%（2020））

→ **実は、30年前の100倍!!** cf「国の恥」

●政府の目標 = 30%には遠い



図1 農業委員及びJA役員に占める女性の割合



出典：女性の農業における活躍推進に向けた検討会「女性の農業における活躍推進に向けた検討会」報告書」2020年より図表3を転載

2. 女性活躍の意義

① 女性、さらには多様な人々の能力が発揮できる状況となること

② 農林漁業における収益力向上やイノベーション効果が期待されること
→生活者や消費者の視点を持つ女性の意見を取り入れることが収益の向上につながる

※消費地が近く、農業の施設化が進む愛知県では特にあてはまる



図2 女性の農業経営への関与と収益性の向上



3. 女性の農林漁業・農山漁村離れー古い課題が残り、女性の能力発揮が妨げられているー

○中長期ビジョンの策定から約30年が経過した現在においても、**依然として様々な課題が残っている**

○リーダー層以外では**女性の能力発揮を妨げる状況**が続いている

○**女性の農林漁業・農山漁村離れ**

○**農林漁業・農山漁村の衰退**



4. 農業委員会や農協などの公共性と女性の参画

○行政や農業関連組織が主催する農業経営のスキルアップの研修や会合の情報は、経営主のみにしか届かないことが多く、妻である女性には情報が届きにくい状況

○「研修や会合の開催案内を経営主だけでなく女性にも直接文書で発出すれば、家族の理解が得られ、研修や会合に女性が出やすくなるのに。」

※30年前にも指摘されたこと



依然として地域に埋もれている女性たち

○依然として地域に埋もれている女性たちが多数存在

○「**見つけて、位置づけて、つなぐ**」ことの必要性

※まずは「**居場所**」を作り、**大切な担い手(候補)**として認めること

※**ロールモデル**の重要性



4. 農業委員会や農協などの公共性と女性の参画

○一定の集団をもとに排除した**公共性**は不完全な**公共性**であるだけでなくそもそも**公共性**ではない(岡山大学・藤井和佐教授)

→**女性の農業委員や農協の役員が任命されていない市町村や農協では公共性があるとはいえないのではないか?**

○これまで、なぜ女性が登用されなければならないのか?という問いが繰り返されてきたが、なぜ女性の割合がこんなに低いままだったのか、なぜ、そうした状況で農林漁業・農山漁村の世界は平気だったのか?という問いこそ必要とされているのではないかと?



5. 女性を担い手として位置付ける家族経営協定

○家族経営協定は30年前に女性が農業の担い手として明確に位置づけるための核となる手法として位置づけられ推進

○運動論的手法として：男女共同参画のみのみならず経営改善・発展の手法として

※愛知県は先進的取り組みを進めてきた経験

○制度論的手法として：「一経営複数経営者」を可能に

※経営改善計画との結びつけ

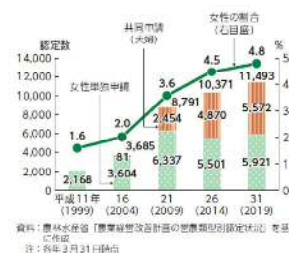


図3 女性の認定農業者の割合

○協定締結の対象：園芸や畜産産地の専門的家族経営多い。

○協定の様式・内容：基本的な部分は似ているが、地域の実情などに合わせてさまざまな工夫。先進的経営では協定の締結を家族で経営・生活のあり方を見直すよい機会として活用し、家族のニーズを反映して新しい項目を加えて内容豊かなものに。

○先進的事例：家族経営協定の見直しを継続的に行う中で経営や生活のあり方を見直し、家族経営・生活の発展に活用、**男女共同参画**を進めると同時に家族経営を一つの組織と見なし、長期、中期、さらには短期の経営・生活設計と結びつけて**経営改善のツール**として活用しているケースも。

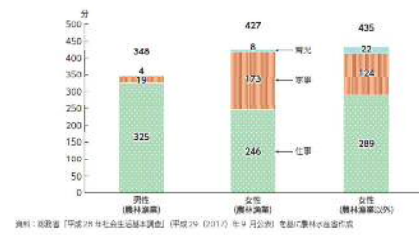


出典：女性の農業における活躍推進に向けた検討会「女性の農業における活躍推進に向けた検討会」報告書」2020年より図表2を転載

6. 女性がもっと活躍するための対応策：あいち農山漁村男女共同参画プランの実現のために

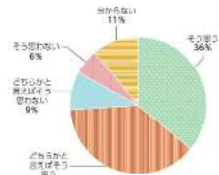
- ① 農山漁村におけるさらなる意識改革
- ② ワーク・ライフ・バランスの改善（**女性の過重負担の解消**）
- ③ 女性の学び合い・女性グループ活動の活性化
- ④ 地域をリードする女性の育成・地域の方針策定への女性の参画
 - ※ **ロールモデル**の育成と広報
- ⑤ 女性に係るプラットフォーム機能の強化（農林水産省、都道府県、市町村、農協・漁協・森林組合関係、農業委員会関係など）
 - ※ 女性グループ・ネットワークの**中間支援組織化**の重要性

図4 男女別職業別仕事・家事・育児時間の比較



出典：女性の農業における活躍推進に向けた検討会「女性の農業における活躍推進に向けた検討会」報告書」2020年より図表7を転載

図5 家族経営協定の締結が、経営やワーク・ライフ・バランスの改善に役立つと思うか



資料：農林省「2019年度男女共同参画推進事業におけるアンケート調査」(2019年10月～2020年3月) 調査結果報告書「女性の農業における活躍推進に向けた検討会」報告書」2020年より図表8を転載

出典：女性の農業における活躍推進に向けた検討会「女性の農業における活躍推進に向けた検討会」報告書」2020年より図表8を転載

7. 結びにかえて

○ **女性自らによる政策や制度の提案・推進を!!**

cf 中長期ビジョンと懇談会報告書の相違点



事例発表

農業	山内 祐子 氏（田原市） 愛知県農村生活アドバイザー協会会長となって
農業	太田 良子 氏（安城市） 人とのつながりを大切に ～自分を高めるために～
農業	中村 美恵 氏（豊橋市） 菜ッ花園のファンをつくる ～めざせ！女性農業者のパイオニア！～
水産業	株式会社夏目商店 牧内 美奈子 氏（豊橋市） 豊橋うなぎをひろめたい
林業	前田 臣代 氏（丹羽郡大口町） 土谷 由希子 氏（丹羽郡大口町） 「苗木づくりは林業の根幹」